

I 「やまぐち型地域連携教育」の推進に向けて

- 山口県コミュニティ・スクール推進協議会会長から P2
- 山口県「学校・家庭・地域の温かい絆ゆかりづくり」推進会議議長から P2



「やまぐち型地域連携教育」の推進に向けて

「ふるさと山口」を託せる「志」ある子どもたちを育てましょう！

山口県コミュニティ・スクール推進協議会 会長 霜川 正幸

現在、地方自治体の多くは、人口の減少、産業の衰退やコミュニティの機能低下等の課題を抱えています。地方の弱体化が国全体の成長鈍化をもたらすことは当然で、待ったなしの地方創生が求められています。同時に、地方創生の主体は「人」であり、取組の多くは次代を担う「子どもたち」に託されることを忘れてはなりません。



今こそ、故郷に誇りと愛着をもち、「志」をもって地方創生に生きる人材（課題を開発し、他者と共に解決し、困難を粘り強く乗り越える力をもった子どもたち）の育成が求められています。そのためには、学校・家庭・地域それぞれの質の高い教育力が必要です。同時に、それぞれが連携・協働して、共に学び合い高め合い喜び合える豊かな教育風土も必要です。それらを可能にする、この点で、私は「やまぐち型地域連携教育」に大きな期待を寄せています。

山口県では、全市町立小・中学校がコミュニティ・スクールとなり、また一步階段を上りました。コミュニティ・スクールと地域協育ネットの一体的推進による社会総がかりの学校づくり・地域づくりを、これからも応援し続けたいと思っています。

子どもを中心に知恵と創意工夫による質の高い実践に期待

山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議 議長 江原 健二

今日の社会は、グローバル化や高度情報化が急速に進む一方、少子高齢化や人口減少社会が予想をはるかに超える勢いで進み、地方は地域コミュニティの活性化が強く求められ、地方創生や一億総活躍社会等の諸施策に期待が寄せられています。



県内では、「元気創出やまぐち！未来開発チャレンジプラン」のもと、ふるさとやまぐちを愛する子どもの育成や、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組が地域の元気創出を夢見て、今、大きく花開こうと、子どもや保護者、教職員、地域住民等を巻き込み躍動しています。各地域では、コミュニティ・スクールと「地域協育ネット」を車の両輪として、学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育む仕組みづくりが進み、知恵と創意工夫による質の高い取組が繰り広げられています。

これからは、生涯学習社会の中で、学校教育と社会教育が一体となる連携・融合の発想のもと、各市町が責任をもって、人づくりや地域づくりの一環として諸施策を展開し、皆で力を合わせて、子どもたちの元気、地域の元気を第一に掲げた夢あふれた質の高い実践を期待します。